

環境報告書

2017年度

活動期間

平成29年 1月～平成29年 6月

発行日 : 2017年 7月 31日

改訂日 : 2017年 10月 21日

有限会社 勝川木材

1. 組織概要

- (1) 会社名 有限会社 勝川木材
(2) 所在地 本社 三重県三重郡菰野町大字杉谷2365-18
工場 三重県三重郡菰野町大字杉谷2296-1
(3) 事業内容 林業
産業廃棄物収集運搬業(三重県・愛知県・岐阜県)・産業廃棄物処理業(中間処理)
(4) 代表者氏名 代表取締役 勝川卓也
(5) 資本金 1000万円
(6) 組織人数 16名(正社員)
(7) 売上高 411,741,222円 平成28年7月決算
(8) 敷地面積 本社1547平方メートル 工場3067平方メートル
(9) 延べ床面積 本社99平方メートル 工場128平方メートル
(10) 沿革
平成09年02月 三重県三重郡菰野町に有限会社勝川木材を設立
資本金300万円、林業を開始。
平成15年12月 三重県において産業廃棄物処理業の許可を取得。
平成16年11月 三重県において産業廃棄物収集運搬業の許可を取得。
平成24年02月 岐阜県において産業廃棄物収集運搬業の許可を取得。
平成24年03月 愛知県において産業廃棄物収集運搬業の許可を取得。
平成26年04月 三重県三重郡菰野町にリサイクル施設新設、
木くず処理能力144t/日。
平成28年10月 資本金1000万円に増資。
平成29年04月 リサイクル施設の処理施設設置許可変更
処理能力増量480t/日。

(11) 産業廃棄物収集運搬業許可一覧とその内容

①産業廃棄物収集運搬業許可一覧

・産業廃棄物収集運搬業許可(三重県)

許可番号 第02402108491号
許可の年月日 平成26年12月16日
許可の有効年月日 平成31年11月14日
事業の範囲 【積替え・保管を除く】:木くず 1種類

・産業廃棄物収集運搬業許可(岐阜県)

許可番号 第02100108491号
許可の年月日 平成29年2月1日
許可の有効年月日 平成34年1月31日
事業の範囲 【積替え・保管を除く】:木くず 1種類

・産業廃棄物収集運搬業許可(愛知県)

許可番号 第02300108491号
許可の年月日 平成29年3月13日
許可の有効年月日 平成34年3月12日
事業の範囲 【積替え・保管を除く】:木くず 1種類

②産業廃棄物収集運搬業施設の状況

・収集運搬車両種類と台数

号車	自動車登録番号	車体の形状	最大積載量(kg)	備考
1	三重11ら6337	キャブオーバ	6,200	
2	三重100す516	ダンプ	2,000	
3	三重100は3058	ダンプ	7,200	
4	三重400つ7683	ダンプ	3,000	
5	三重100は4286	ダンプ	9,900	
6	三重130さ4287	脱着装置付き コンテナ専用車	10,500	
7	三重480こ3751	キャブオーバ	350	
8	三重130さ4288	脱着装置付き コンテナ専用車	10,200	
9	三重130す4289	脱着装置付き コンテナ専用車	11,800	
10	三重130さ4285	キャブオーバ	12,000	新規追加

・産業廃棄物の収集運搬料金 積載状態等距離により、都度見積を行う

③産業廃棄物収集運搬業の実績

・収集運搬実績

平成26年4月～平成27年3月 7,326 トン
 平成27年4月～平成28年3月 11,207 トン
 平成28年4月～平成29年3月 7,480 トン

(12) 産業廃棄物処理業許可一覧とその内容

①産業廃棄物処理業許可一覧

・産業廃棄物処分業許可(三重県)

許可番号 第02422108491号
 許可の年月日 平成26年1月21日
 許可の有効年月日 平成30年12月23日
 事業の範囲 【中間処理】 破砕:木くず 1種類

・事業の用に供するすべての施設

施設の種類	設置場所	設置年月日	処理能力	許可年月日	許可番号
破碎施設	三重県三重郡菰野町大字杉谷黒石原 2296番地1の一部	H29.4.25	木くず:480t/日(8h)	H29.4.17	28四地防 第 1016号の7

・再生施設の認定(三重県)

認定番号 四地防 第1028号の8

認定年月日 平成29年3月23日

認定期間 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

② 産業廃棄物処理業施設の状況

・産業廃棄物の処理工程 別紙 有限会社 勝川木材 処理工程表 平成29年7月現在

・産業廃棄物の処理料金 廃棄物の状態、発生場所確認後、都度見積を行う

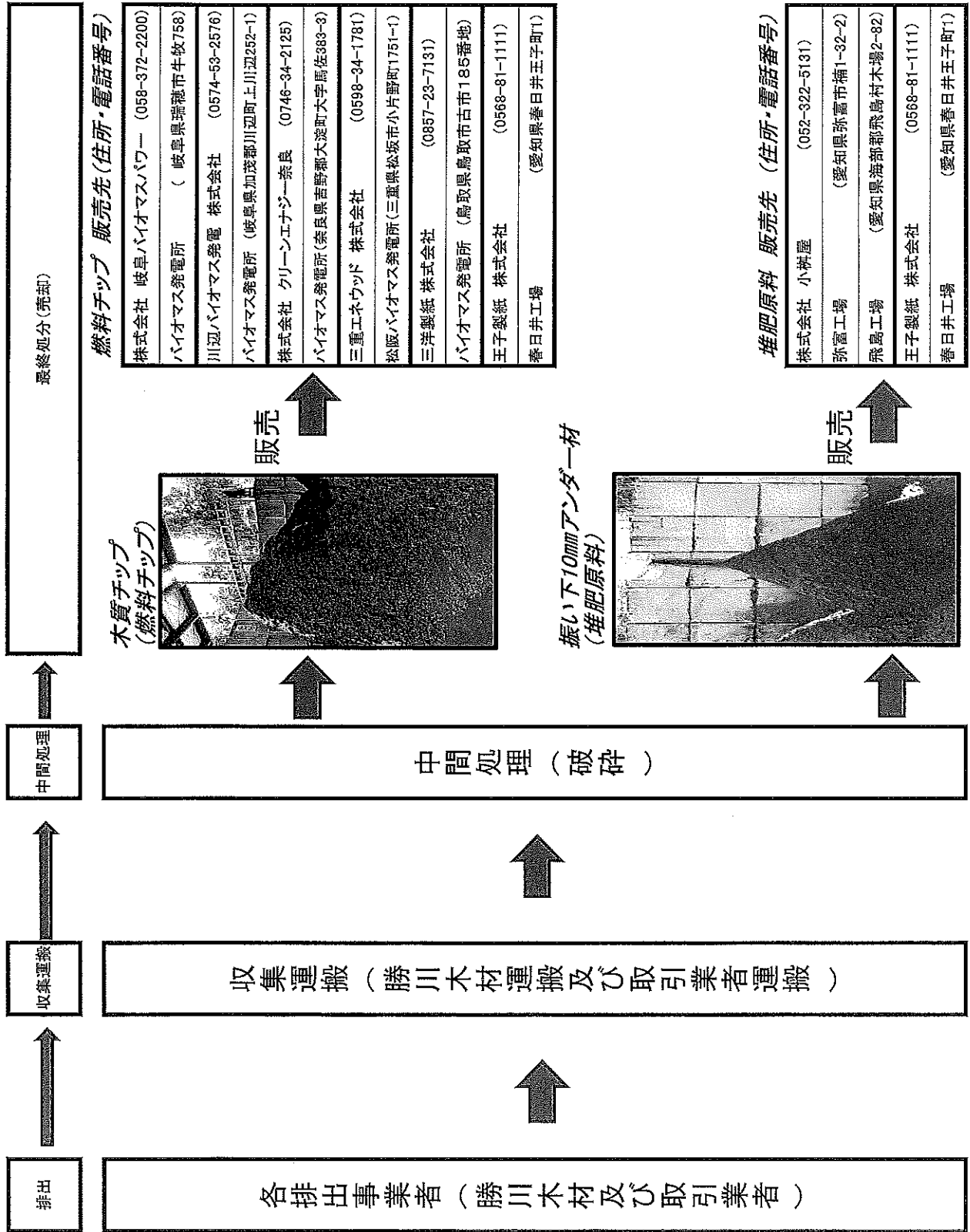
③ 産業廃棄物処理業の実績

・処理実績

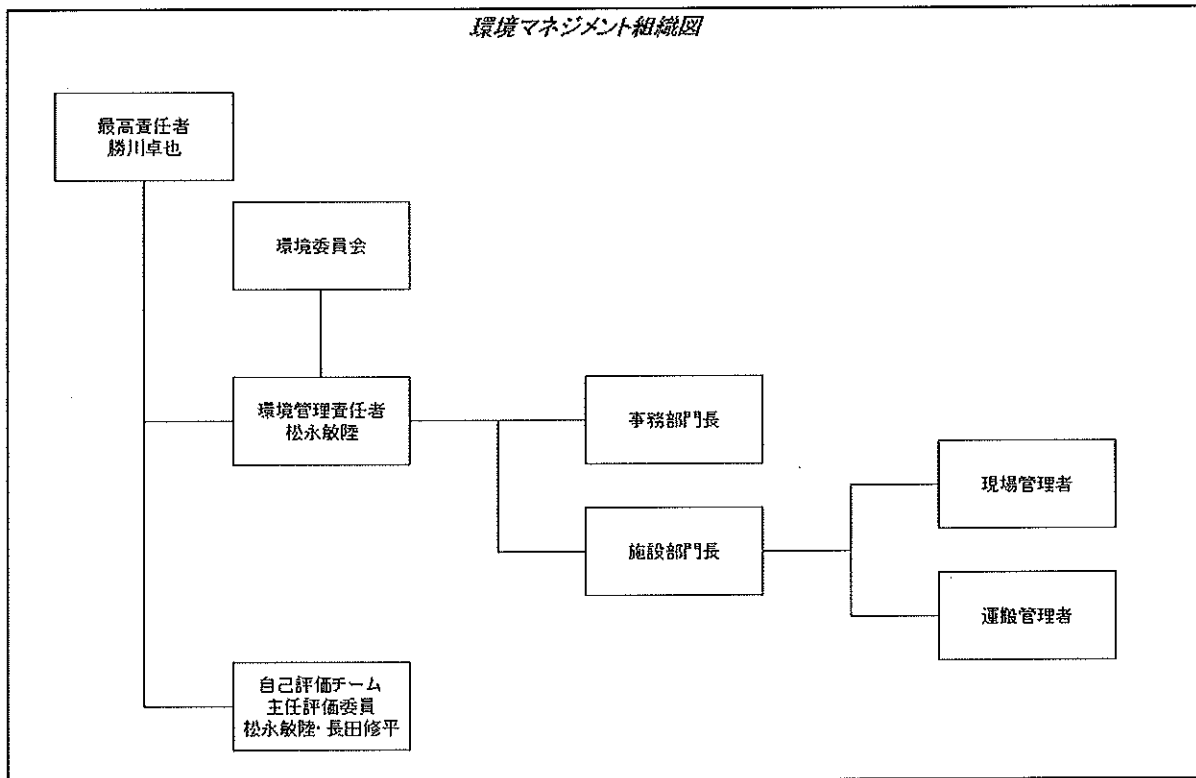
平成26年4月～平成27年3月 7,499 トン
 平成27年4月～平成28年3月 11,289 トン
 平成28年4月～平成29年3月 7,904 トン

	収集運搬量トン	持込量トン	⇒	処理量トン
H26年度	7326	173		7499
H27年度	11207	82		11289
H28年度	7480	424		7904

別紙 有限会社 勝川木材 処理工程表 平成29年7月現在



(13) 環境活動の取り組み体制



2. 登録対象

(1) 登録内容

M-EMS登録証

登録日： 登録申請中

登録期限： 登録申請中

登録番号： M-EMS2W

(2) 登録範囲

産業廃棄物の収集運搬及び、産業廃棄物の処分(中間処理)

(2) 登録範囲

本社・事務所

三重県三重郡菟野町大字杉谷2365-18

工場(中間処理施設)

三重県三重郡菟野町大字杉谷2296-1

環 境 宣 言

基本理念

有限会社 勝川木材は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

方 針

有限会社 勝川木材は、産業廃棄物の収集業務、産業廃棄物中間処理業務に係る全ての活動、製品及びサービスの環境負荷を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 木質バイオマス発電への貢献
 - (2) 廃棄物適正処理の推進（分別方法の指導・提案）
 - (3) 重機燃料の使用効率改善
 - (4) トラック燃料の使用効率改善
 - (5) 事業所周辺の清掃活動
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動及び環境保護を積極的に実践できるように、この環境宣言を組織の全員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県および菰野町の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定するとともに、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2017年 1月10日

改訂日 2017年 9月29日

有限会社 勝川木材
代表取締役 勝川卓也

4. 環境改善目標

・3年間のCO2削減計画及び実績
(基準年度:2016年度)

No.	環境改善目標		単位	基準年度 2016年度 実績	目標値		
					2017年度	2018年度	2019年度
1	木質バイオマス発電所への 売却出荷量増量 (2019年度:3%増量)	木質バイオマス発電所への 売却出荷量	t	6,900	1%増	2%増	3%増
					6,969	7,038	7,107
2	産業廃棄物適正処理分別方法 の提案・指導件数率向上 (2019年度:30%増量)	分別方法の提案・指導件数	件	30	1%増	2%増	3%増
					33	36	39
3	重機燃料(軽油) 使用量の削減 (2019年度:3%減)	燃料使用量	ℓ	183,738	1%減	2%減	3%減
		二酸化炭素排出量	kgco2/年	474,045	469,302	464,563	459,823
		二酸化炭素削減量	kgco2/年	—	4,743	9,482	14,222
4	トラック燃料(軽油) 使用量の削減 (2019年度:3%減)	燃料使用量	ℓ	71,595	1%減	2%減	3%減
		二酸化炭素排出量	kgco2/年	184,715	182,868	181,021	179,173
		二酸化炭素削減量	kgco2/年	—	1,847	3,695	5,542
5	工場・本社 周辺の清掃	清掃回数	回	12	12	12	

二酸化炭素排出目標量(軽油)	kgco2/年	658,760	652,170	645,583	638,996
二酸化炭素削減目標量(軽油)	kgco2/年	—	6,590	13,177	19,764

排出係数:軽油2.58kg-co2/L

出典:2014年(H26年)環境省より

- ① 総排出量(水の使用量)は、生活排水のみのため改善目標から除外したが、管理項目として取り上げ、節水を心がけ、その削減に努めていく。
なお、処理工場で使用する洗車等の水は井戸水を使用している。
- ② 電気使用料は、事務所とベルトコンベアのみ使用で現在必要な箇所のみ使用のため改善目標から除外しましたが、管理項目として取り上げ、節電を心がけ、その削減に努める。
なお、次年度より環境改善目標として取り上げるよう検討します。
- ③ グリーン購入においては、事務用品をメインに購入品目の増量に努める。
- ④ 化学物質においては、その使用実績がありません。

5. 環境改善目標と実績

2017年度 環境改善活動実績 (基準年度:2016年度)

No.	環境改善目標	具体的施策	項目	単位	目標値		評価
					上段:1月～6月	実績値(1月～6月)	
1	木質バイオマス発電所への売却出荷量増量 (基準年度:1%増量)	・発電所への安定供給管理 ・木質チップの製品管理 ・木質バイオマス証明認定事業者維持	売却出荷量	t/年	3,485	3,288	(B)
					6,969	—	
2	産業廃棄物適正処理分別方法の提案・指導件数率向上 (基準年度:10%増量)	・分別の徹底 ・分別方法の向上 ・指導件数、訪問件数増件推進	指導件数	件/年	17	18	(A)
					33	—	
3	重機燃料(軽油)使用量の削減 (基準年度:1%減)	・アイドリングストップの実施 ・使用前点検の実施 ・エコドライブ推進	燃料使用量	ℓ/年	90,950	70,965	(A)
					181,900	—	
			CO2排出量	kgco2/年	234,651	183,090	
					469,302	—	
CO2削減量	kgco2/年	2,372	53,933				
		4,743	—				
4	トラック燃料(軽油)使用量の削減 (基準年度:1%減)	・アイドリングストップの実施 ・使用前点検の実施 ・エコドライブ推進	燃料使用量	ℓ/年	35,439	31,783	(A)
					70,879	—	
			CO2排出量	kgco2/年	91,433	82,000	
					182,868	—	
CO2削減量	kgco2/年	924	10,357				
		1,847	—				
5	工場・本社 周辺の清掃	・全員参加での清掃活動	清掃回数	回	6	6	(A)
					12	—	

評価記号 A:良好(100%以上) B:やや不足(90~100%以上) C:不適合(90%以下)

電力(中部電力):0.509kgco2/kwh 出典:2014年(H26年)環境省より

		目標	実績 (1月～6月)
二酸化炭素排出量(軽油分)	kgco2/1月～6月	326,084	265,090
二酸化炭素削減量(軽油分)	kgco2/1月～6月	3,296	64,290
二酸化炭素総排出量(軽油+電力)	kgco2/1月～6月	329,986	269,157
二酸化炭素総削減量(軽油+電力)	kgco2/1月～6月	3,296	64,125

管理項目での実績

No.	管理項目での実績	具体的施策	項目	単位	前年値			実績値			増減量		
					上段:1月～6月	下段:年間	上段:1月～6月	下段:年間	上段:1月～6月	下段:年間	上段:1月～6月	下段:年間	
1	水の使用料削減	水の出しっぱなしの排除	水の使用料	m ³ /年	4	—	6	—	2 増	—	—	—	
					12	—	—	—	—	—			
2	電気の使用料削減	必要以外の電気使用の排除	電気の使用量	kwh/年	7,667	—	7,991	—	324 増	—	—	—	
					15,596	—	—	—	—	—			
			CO2排出量	kgco2/年	3,903	—	4,067	—	164 増	—	—	—	
					1,986	—	—	—	—	—			
3	グリーン購入	エコ商品カタログの活用	購入品目	品目/年	33	—	28	—	5 減	—	—		
					53	—	—	—	—	—			

5-1 具体的環境活動の評価

- ・木質バイオマス発電所への売却出荷量増量
売却先の受入制限と破砕機入替えの施設変更のため、目標数量達成できていなかったが、販売先増量、破砕施設ともに現在順調である。
- ・産業廃棄物適正処理分別方法の提案・指導件数率 向上
活動開始後から提案・指導件数と安定している、引き続き提案指導に努める。
- ・重機燃料(軽油)使用量の削減
作業中の無駄なアイドリングを無くすことと、作業中のエンジン回転数を作業に応じた回転数で作業することを従業員全員が意識し始めている。
- ・トラック燃料(軽油)使用量の削減
遠距離の作業現場があり、5月に目標達成できなかったが、運転手個々にアイドリングストップを心がけ、エコドライブで作業できている。
- ・工場・本社 周辺の清掃
毎月実施できている、全員で取り組んでいるという、意識がでてきた。
- ・水の使用量は工場は全て井戸水使用、本社事務所の使用のみとなるため、節水で使用し、管理項目で管理する。
- ・電気使用量は、必要以外の電気使用の排除、持ち場を離れる時の消灯の徹底で節電し、管理項目で管理する。
- ・グリーン購入では、事務用品メインですが、いままで気にしていませんでしたが、活動を始め、エコ商品を気にして購入するようになってきました。

5-2 2017年度活動についての今後の課題

- ・木質バイオマス発電所への売却量増量において、販売先との安定供給管理が課題になります。品質の安定した製品作りと、販売先確保、新規取引を重点に活動していきます。
- ・CO2削減、環境負荷低減については、今は活動して半年が経過し、意識していますが、なれが出てくる時期ですので、引き続き定期的にミーティング、教育等を行い、環境負荷の低減に取り組みます。

6. 環境関連法規の順守状況

- ・環境関連法規については、適正に順守され、チェックされており、違反等はありません。関係機関等からの指摘・苦情・起訴はありません。

7. 代表者による全体の評価見直し結果

7-1 全体評価

- ・システム、活動ともに、無理なくスムーズに行われている
引き続き環境負荷低減に努め、全員が、私は〇〇の活動で、環境負荷低減に貢献した、数字に出たと、いえるように努力してください。

7-2 見直し評価

- ・環境宣言の必要性:なし
- ・システム等変更の必要性:なし

現在見直し変更はありません。

8.コミュニケーション



平成29年1月24日
取引先様より
安全標語、本部長賞を受賞しました。



平成29年8月26日
菰野町で行われる木-1グランプリ
本年度2回目
会場整備、きのぼりの安全対策設備等
を行います。



平成29年12月8日予定
伊勢神宮篝火資材の奉納
平成3年～毎年12月8日事納に丸太奉納
本年度も奉納予定しています。